別 記

様式第1号（第8条、第9条、第12条関係）

# 事業者行動（計画・変更計画・報告）書

令和6年 12月 24日

（宛先）
滋賀県知事

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
東京都台東区台東一丁目5番1号

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
株式会社T＆Tエナテクノ
代表取締役社長　北島　友明

滋賀県$CO_2$ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例 第25条第3項・~~第25条第4項~~ / 第27条第1項・~~第27条第2項において準用する同条例~~ / 第26条第1項 / ~~第27条第2項において準用する同条例第26条第1項~~ ~~第25条第4項~~ の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~ / ~~事業者行動報告書を作成~~ したので、提出します。

| | |
|---|---|
| 事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名） | 株式会社T＆Tエナテクノ<br>代表取締役社長　北島　友明 |
| 事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） | 東京都台東区台東一丁目5番1号 |

1 事業所の概要

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業所の名称 | 株式会社T＆Tエナテクノ　滋賀工場 | | | | | |
| 事業所の所在地 | 東近江市種町1494番地 | | | | | |
| 主たる事業 | 日本標準産業分類細分類番号 | 2 | 4 | 5 | 1 | ※ 産業分類・細分類名称を記載<br>アルミニウム・同合金プレス製品製造業 |
| 事業の概要 | リチウムイオン二次電池用外装材（ハードパック）の製造 | | | | | |
| 従業員の数 | 100 人 | 操業時間 | 24 時間／日 | | | |
| 該当する事業者の要件 | ☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者 | | | | | |
| | ☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 | | | | | |
| | ☐ 任意提出事業者 | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 主要な設備 | ボイラ | 台 | 熱源設備 | 16 台 | 照明設備 | 台 |
| | コンプレッサ | 1 台 | 空気調和設備 | 20 台 | その他 | 機械ﾌﾟﾚｽ：7台 |

2 計画期間（および報告対象年度）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 計画期間 | 開始年度 | 6 年度 | 報告対象年度 | 年度 |
| | 終了年度 | 8 年度 | | |

3 計画の（内容・実施状況）

| | |
|---|---|
| 計画の（内容・実施状況） | 別添のとおり |

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

標準様式第1号・標準様式第2号

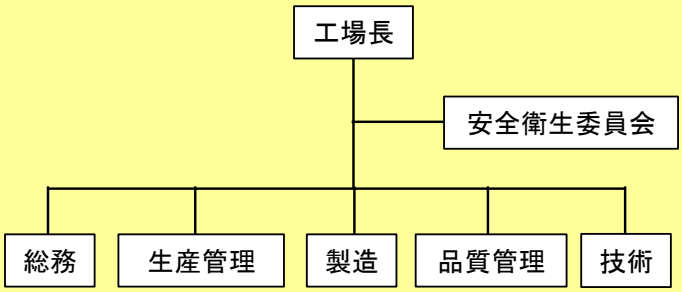
（第1面）

1 $CO_2$ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

脱炭素社会への貢献のために、CO2を含む温室効果ガスの排出総量の削減に取り組んでいきます。
1.長期間使用したユーティリティ設備の計画的かつ高効率な設備への更新を進めます。
2.設備の効率的な運転・運用に取り組んでいきます。
3.将来のCO2削減に必要となる次世代二次電池に対応した製品の開発を進めます。

2 取組の推進体制

・ISO14001の認証取得(同一敷地内 東洋製罐 滋賀工場のサイトの拡大登録
・安全衛生員会内で省エネに関するパトロールも実施(月1回)




3 これまでに取り組んできた$CO_2$ネットゼロ社会づくりに係る取組

・照明(蛍光灯)からLED照明への切り替え(推進中)
・設備・機器導入において トップランナー制度に準じた機器の検討・選定
・季節・温度に応じて 空調機用チラーの冷温水温度を適切な設定への切り替え
・製造ライン休止時 空調機・コンプレッサの適宜 停止。

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源$CO_2$排出量の削減に向けた取組の内容等

| | 取組項目 | 実施計画 | | 実績報告 |
|---|---|---|---|---|
| | | 取組の内容 | 実施スケジュール | 取組の実施状況 |
| 1 | 設備導入 | 既設照明(蛍光灯・ﾒﾀﾙﾊﾗｲﾄﾞﾗﾝﾌﾟ)からLED照明への切り替え | R6~R8年度 | |
| 2 | 設備導入 | 洗浄機用空冷チラーの更新 | R6~R8年度 | |
| 3 | 運用改善 | 夏季:洗浄機用空冷チラーへの散水による負荷低減 | R6年度～ | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |

(2) エネルギー起源$CO_2$以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

| | 温室効果ガスの種類 | 実施計画 | | 実績報告 |
|---|---|---|---|---|
| | | 取組の内容 | 実施スケジュール | 取組の実施状況 |
| 1 | HFCs | ﾌﾛﾝ類の確実な回収及び破壊への協力 | 随時 | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

| 取組目標および目標設定の考え方 | 目標の進捗に対する自己評価 |
|---|---|
| 弊社の今後の生産計画として、2023年度新製品用生産ライン増設を実施済、2024年度生産開始する予定であるため、原単位(内部生産額:百万円に対するCO2排出量:t-CO2)を対象項目とし、年1%程度の削減を目標とする。 | |

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

| | | 計画開始年度前年度の実績 | 実績報告 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | (2024)年度 | (2025)年度 | (2026)年度 | (2027)年度 | (2028)年度 |
| 原油換算エネルギー使用量 | kL | 1,817 | | | | | |
| 温室効果ガス総排出量 | t-$CO_2$ | 2,937 | | | | | |
| エネルギー起源$CO_2$ | t-$CO_2$ | 2,934 | | | | | |
| 非エネルギー起源$CO_2$ | t-$CO_2$ | 0 | | | | | |
| $CH_4$ | t-$CO_2$ | 0 | | | | | |
| $N_2O$ | t-$CO_2$ | 0 | | | | | |
| HFCs | t-$CO_2$ | 3 | | | | | |
| PFCs | t-$CO_2$ | 0 | | | | | |
| $SF_6$ | t-$CO_2$ | 0 | | | | | |
| $NF_3$ | t-$CO_2$ | 0 | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| エネルギー等原単位の推移 | 0.069 | | | | | |

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

（1）再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

| | 実施計画 | | 実績報告 |
|---|---|---|---|
| | 取組の内容 | 実施スケジュール | 取組の実施状況 |
| 1 | 現状　明確な取り組み予定無し。<br>親会社にて再エネ電力の契約含め、検討中。 | 未定 | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |

■ 中長期的な取組の内容等

| | 取組の内容 |
|---|---|
| 1 | 現状　明確な取り組み計画無し。親会社にて再エネ電力の契約含め、検討中。 |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

（2）所有する主な再生可能エネルギー設備

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 太陽光 | 0 kW | 水力・小水力 | 0 kW | 地熱 | 0 kW |
| 太陽熱 | 0 kW | バイオマス | 0 kW | その他（　　） | 0 kW |
| 再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績 | | | | | |

（3）再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

| | | 計画開始年度 | 実績報告 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 前年度の実績 | (2024)年度 | (2025)年度 | (2026)年度 | (2027)年度 | (2028)年度 |
| 再エネ電気設備での発電量 | kWh | 0 | | | | | |
| 上記のうち自家消費量 | kWh | 0 | | | | | |

6　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により$CO_2$ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

（1）取組の内容およびその実績

| 取組の内容等 | 取組の実施状況 |
|---|---|
| 弊社製造・販売品である「リチウムイオン二次電池用外装材」を使用したリチウムイオン電池を搭載したハイブリッド車・電気自動車の台数が増えることでCO2削減に貢献する。 | |
| | $CO_2$削減貢献量 |
| | t-CO2 |

（2）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

| 目標および目標設定の考え方 |
|---|
| 出典 電気事業連合より(2018年度・国内)<br>・ガソリン車の1km 走行における CO2 排出量は、約 115g- CO2/km<br>・ハイブリッド車の1km 走行における CO2 排出量は、約 75g- CO2/km<br>・電気自動車の1km 走行における CO2 排出量は、約 58g- CO2/km と試算される。<br>・各車種の年間走行距離を4,500kmと想定する。<br>・車輌販売数の内　乗り換え率は以下の通りと想定する<br>①ガソリン車⇒ハイブリッド車 ： ハイブリッド車販売数の5%<br>②ガソリン車⇒電気自動車 ： 電気自動車販売数の5%<br>③ハイブリッド車⇒電気自動車 ： 電気自動車販売数の5%<br>・T&Tエナテクノにて2023年度に生産したリチウムオン二次電池用外装材を<br>ハイブリッド車・電気自動車に使用した場合、<br>ハイブリッド車:a＝約735,000 台、電気自動車:b=約64,000台である。<br><br>以上より、2023年度のT＆Tエナテクノの事業活動を通じたCO2削減量は以下の様に算出される。<br>①ガソリン車⇒ハイブリッド車 (115-75)×4500×(a×5%) g- CO2・年<br>②ガソリン車⇒電気自動車 (115-58)×4500×(b×5%) g- CO2・年<br>③ハイブリッド車⇒電気自動車 (75-58)×4500×(b×5%) g- CO2・年<br>年間では ① 6615 (t- CO2・年)、② 7233 (t- CO2・年)、③ 245 (t- CO2・年)<br>総計 14093 (t- CO2・年) となる。<br><br>目標として 生産稼働の安定化・品質改善による生産数upにより、計画最終年度(2026年度)まで事業活動を通じたCO2削減量 年1%のup・2026年度 14516 (t-CO2・年)を計画する。 |

（3）上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価および$CO_2$削減貢献量の算出根拠

| 目標の進捗に対する自己評価 |
|---|
| |
| $CO_2$削減貢献量の算出根拠 |
| |

7 その他の$CO_2$ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

| 項目 | 単位 | 計画開始年度前年度の実績 | 実績報告 (2024)年度 | (2025)年度 | (2026)年度 | (2027)年度 | (2028)年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 温室効果ガス排出量の推移 | t-$CO_2$ | 3,537 | | | | | |
| エネルギー起源$CO_2$【調整後排出係数】 | t-$CO_2$ | 3,537 | | | | | |
| 【調整後排出係数】 | kg-$CO_2$/kWh | 0.434 | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | |

(2) クレジット等購入

| 項目 | 単位 | 計画開始年度前年度の実績 | 実績報告 (　)年度 | (　)年度 | (　)年度 | (　)年度 | (　)年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| グリーン証書の購入 | t-$CO_2$ | 0 | | | | | |
| クレジットの購入 | t-$CO_2$ | 0 | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | |

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

| | 取組項目 | 実施計画 取組の内容 | 実施スケジュール | 実績報告 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 通勤 | 同一敷地内の東洋製罐㈱手配による通勤用バスの利用推進 | 随時 | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |

(4) 業務で使用する車輌の脱炭素化の取組

| | | 計画開始年度前年度の保有台数 | 実績報告 (2024)年度 | (2025)年度 | (2026)年度 | (2027)年度 | (2028)年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 保有車輌の数 | 台 | 0 | | | | | |
| 上記のうち次世代自動車等の数 | 台 | 0 | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | |

(5) その他の$CO_2$ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

| | 取組項目 | 実施計画 取組内容 | 実施スケジュール | 実績報告 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | グリーン購入 | 事務用品の購入に当たり、グリーン購入を進める | 随時 | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |